

伊深 まちづくり協議会 だより

第 41 号

・ [特集] 「第 2 回お月見会」 を開催	1
・ 活動グループの動き	1
・ 定例会のあらまし	4
・ 名所・旧跡紹介シリーズ【中切弘法堂】	4

伊深まち協 HP アドレス <http://ibukamachi.com>



「第2回 お月見会」を開催

--- 二胡の調べに酔い、だんご汁を満喫 ---



9.19 (月)、昨年度に続き“伊深まち協お月見会”を開催しました。今年も演目に「二胡」を選び、『月と二胡とだんご汁』と名づけて開いたところ、あいにくの曇り空で月を愛でることはできませんでしたが、月見に似合う二胡の調べと伝統の月見かざり、素朴なだんご汁の三重奏で、心温まる静かな秋の夕べを過ごすことができました。

2～3 ページで当日のようすを紹介します。

各活動 グループ の動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。

小学校稲作体験支援グループ /

9.12 (月)、伊深小 5 年生が稲刈り体験授業を行いました

今年も 5 年生が稲刈り体験授業を行いました。今年も乾いた田んぼで天気も良かったため、用意した面積分はすぐに刈り取ることができました。また、例年苦勞する「からげる」ことも比較的うまくできました。児童らは自分たちで植えた稲の手刈り作業を体験し、稲作の大変さを少し実感できたようです。

12 月には収穫した米を使って五平餅をつくる収穫祭を行うことになっています。



●お月見会



◀会場の伊深小学校入口に設けた飾り。



◀参加者にお配りした資料入れのクリアファイル。「伊深のお月見のこと」と伊深の四季折々の写真が美しく印刷されています。



◀「十五夜にまつわる話」家でのお月見かざりやだんご汁の風習についてユーモアを交えて紹介する福田委員（当協議会副会長・生涯学習審議委員）



◀今年も参加してくださいました藤井市長さん。



◀だんご汁づくり講習会に参加されたなかからお二人に、感想を述べていただきました。

（左）小牧市のNさん。「だしがきいておいしかった。」（右）美濃加茂市出身で東京都在住の料理家・写真家、長尾明子さん。「熱湯に入れてだんごを作るのにびっくり。汁はけんちん風でやさしい味。ごぼうの風味が生きていておいしかった」

●二胡演奏会



◀二胡、ピアノ、パーカッションからなる家族トリオ。息の合った演奏を披露していただきました。



◀二胡奏者の玉木鶯洞氏。この日は湿気が多い悪条件のなか、二胡の楽しさを伝えていただきました。



◀途中で、二胡初心者飛び入りによる試し弾きもありました。2～3回弾いたあと、いきなり「かえるの歌」に合わせて弾いたのですが、それなりに「らしく」聞こえたのは二胡の音色が合っていたからなのでしょう。参加していただいたお二人には楽しい思い出になったことと思います。

●だんご汁のふるまい



◀今年も多くの方々に味わっていただきました。



◀こんな小さなお客様も。



◀市長さん、演奏者の皆さんには昔ながらの「飯台」で味わっていただきました。



◀当日のだんご汁。

●だんご汁づくり講習会



◀町内外から参加があり、「れんげ会」の皆さんに教わりながら、楽しくだんご汁づくりを体験していただきました。



◀だんごをこねて丸めているところ。

●旧伊深村役場の展示



◀夕方の景色。右のテント内では薫り高いコーヒーが販売されていました。



◀竣工当時など昔からの写真や現在の伊深の風景写真が展示されていました。



◀ライトアップされた旧役場庁舎。昼間とは違う雰囲気が漂っていました。

■ 協議会の動き

9月定例会のあらまし

9.28 に開いた 9 月定例会では主に次のことを協議・検討しました。

●伊深小学校より：

宮城県・徳水博志氏を招いての「防災・まちづくり懇談会」について

「昨年度流会となった懇談会について講師の体調も回復され実施できる見通しとなったため日程調整したい」と提案があり、伊深小学校での防災講座にあわせ、H29.1.12 (木) にまち協委員との懇談会を実施する方向で調整してもらうことになった。

●協議：

1. 9.19 (月) に実施した「お月見会」について 参加者からのアンケート結果は概ね好意的な評価が多かった。
2. 「シールデザインの募集について」 8 月末の締め切りまでに小学生を含め、28 人から計

33 点の応募があった。10 月上旬にまち協委員・外部委員による審査会を開き、図案決定のうえ、シール作成見積もり・活用方策決定へ進めたい。審査結果は 11.6 の伊深町文化祭の席で行う予定。賞品決定。

3. 「野遊びプロジェクトについて」 今年 1 月の凧揚げに続き、伊深の自然を生かした「野遊び・昔遊び」を実施したい。11 月中～下旬実施に向けて具体化する。

●報告：

自治会 運動会は雨天中止となったが、11.6 に文化祭を開催。盛り上げていきたい。

交通安全 秋の交通安全運動を実施中。

小学校稲作 G 稲刈りを 9.12 (月) に実施した。収穫祭 (五平餅) は 12.13 (火) に実施。

社協 第 4 回目となる「合同サロン」を 10.22 に行う予定。

伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第 19 回 中切弘法堂 (上切)



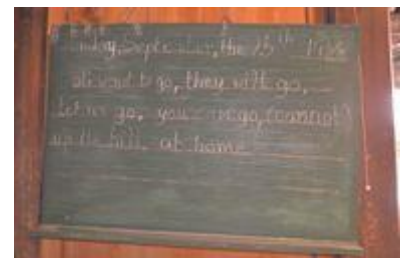
▲間口・奥行とも 2 間の小さなお堂ですが内部の造りはていねいであり、みごとな天上絵も残っています。

しかし、今でも春・秋の彼岸と冬至弘法の年 3 回は地元の人たちがお詣りされています。また、この寺の開祖であった「良海様」をお祀りする講が残っており、良海忌には餅なげも行われています。

一方、昭和 30 年代から 60 年代にかけて、佐野えんねさんがここで「英語塾」を開いておられ、近隣の子どもたちで通ってくる子が少なからずありました。その多くの子らにとっては、授業よりここへ遊びに来ることの方が楽しかったかもしれません。ここへ通った地元民にとっては子ども時代の思い出につながる建物でもあります。

現在、「中切弘法堂」と呼ばれているこのお堂は、明治の始めころまで星宮神社の西にあった長溪山宝生寺という真言宗のお寺の弘法堂でした。本連載第 15 回で紹介したように、星宮神社と宝生寺は神仏習合の神社・寺であったようですが、星宮神社

が大洞、中切、西切の各地区を氏子としているのに対し、宝生寺は廃仏毀釈の時代にこのお堂だけを残して滅んでしまいました



▲塾最終日にえんねさんが英語で書かれた板書が残されています。(1988.9.25)



標柱あり

伊深まちづくり協議会だより 第 41 号

2016. 10. 1 発行

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町 909 伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで